

「スケアードストレート技法による自転車交通安全教室」

11月21日(木)に六中グラウンドで第2回交通安全教室を開催しました。スケアードストレートとは、実際に起きた交通事故の模様や事故につながる危険な行為、事故の発生しやすい場所や状況を再現しプロのスタントマンがその場で実演して見せることです。以下に、参加者の感想文を掲載します。

自転車安全教室では、実際に車や自転車がぶつかりそれを見て危険な目にはあわなないようにしようというものだったけど本当に死んでしまうのではないかと思うくらい怖くてびっくりました。二度とあんなものを見たくないし出会いたくないと思いました。
五小 六年生

私は先日の自転車講習会で改めて乗り物のルール違反の危険性を学ぶことができました。

スタントマンの方々による実際に起きた事故の再現はとても迫力があり、思わず目をそむけそうになりました。私は時速四十キロはそこまで速くはないだろうと思っていました。が、実際に見ると想像以上に速く感じました。そして、車と当たった自転車やバイクがぐちゃぐちゃのを見てすごく怖いなと思いました。大型トラックの内輪差や死角については2年生のとき保健体育で学習しましたが、実際に見たことがなかったので危険性を肌で感じました。

私たち中学生は普段からよく自転車に乗るのでルールを守る大切さを学べて良い機会になったと思います。それと同時に、みんながルールを守って交通事故がなくなればいいなと強く思います。
六中 三年生

「これは本当に起こった事故を再現したものです。」司会の方が何度もこの言葉を繰り返すたびに、大きな恐怖や不安を感じた。実際の車、自転車を使って再現された数々の交通事故は現実味がなくショーのように見えた。だが、一歩間違えれば私達の身の回りで起こる可能性が十分にあることを、貴重な時間の中で身を持って感じた。それとともに、どうすれば事故は防げるのかと考えさせられる時間にもなった。「ルールがあなたを守ってくれる」と掲げられたこの文字通り、ルールを守ることは自分自身を守ることにつながることを学んだ。事故はどこで起こるか分からない状況にある。普段から気をつけ運転することが大切だと改めて考える機会となった。
六中 三年生



黒田クロ氏講演会



「縁」に気づくコツは「意識」

12月14日(土)午後、東北コミセンで漫遊書家黒田クロ氏をお招きして、福祉委員会との共催で講演会を開きました。黒田氏は全国各地で講演され、弟子と名乗るファンも多く、今回も期待通りの楽しいお話でしたので少し紹介しましょう。

「こころ」はどこにある? 「自分」って何?
考えたこともない質問が飛んでくる。

2人向かい合って両手をつなぐと一方が上、他方は下から受ける形になる。上はついていく人、下は引張る人。どちらがいいでなく、そういう役割で社会が成り立っている。

過ぎたことと相手は変えられないが、これからと自分は変えられる。

喜びも悩みも多くは人間関係にあり、見えない「縁」にどう気づき、活かして感謝できるか。「意識」しないと気づけない。などなど。

この世に生まれる事さえ奇跡的確率と言われているのに、同じ時間同じ場所を生きる私たちには何かしらのご縁があるはず。そう意識して周りを見ると、どなたにも声をかけたくなり、微笑みたくなりますよね! 講演会にお越しくださったみなさん、ありがとうございました!

災害時備蓄品を整理しました!!



五小校内7月14日(日)



編集後記

年間2回発行の広報紙なのですが、毎回悪戦苦闘をしてなんとか期日に間に合わせているのが現状です。どこかに楽しい記事はない?何かトピックスで載せられることは?なかなか見つかりませ〜ん。でも次号からは少し親近感をもって読んでいただける企画をお金の代わりに温めています。